

10分でできる“薬物の害”授業セット 3巻

たいま

シンナー・覚せい剤・大麻はキケン!

(マリファナ)

◆指導対象
小学校中・高学年
特別支援学校・学級

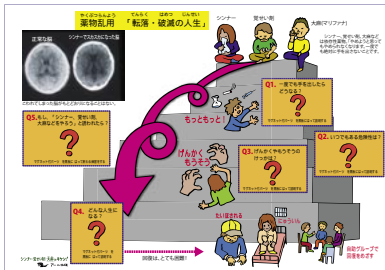
監修/東京福祉大学教授 栗原 久
制作・文/北沢杏子
企画・イラスト/長谷川瑞吉

アーニ出版
〒158-0097 東京都世田谷区用賀 3-5-6
Tel. 03-3708-7321 Fax. 03-3708-7325
ホームページ <http://www.ahni.jp>

このセットに入っているもの

①大型図版

「“薬物依存”からぬけるのは
長くむずかしい道のり……」
(65×91.4cm) 1枚



②紙しばい「シンナー・覚せい剤・大麻はキケン!」10枚組 (B4パネル(25.7×36.4cm)…裏面に解説つき



③マグネット付パーツ5種



マグネット付パーツ①



マグネット付パーツ②



マグネット付パーツ③



マグネット付パーツ④



マグネット付パーツ⑤

④ワークシート1枚
(A4サイズ/コピー用)



⑤指導用解説パンフ

⑥参考資料

10分でできる“薬物の害”授業セット

『シンナー・覚せい剤・大麻はキケン!』
を制作して

北沢杏子



「どうして薬物(ドラッグ)を始めたの?」と訊くと、以前は「面白そうだから」「好奇心から」と答えていた10代。いまは「ヒマだから」と答える子が少なくないそうです。子どもたちは学校という競争社会の中で、家庭の過保護・過干渉、または無関心・養育放棄の中で、いつも満たされなため「心がヒマ」なのだ、『薬がやめられない』*の著者は看破しています。

心が満たされない子どもたちは、ケータイで仲間を求め、シンナー・大麻・覚せい剤へとエスカレートしていきます。薬代欲しさに万引きや窃盗、援助交際へと転がり落ちながら、でも“何とかしたい”と保健室の養護教諭に泣きついてくる。養護教諭は管理職に

相談すれば警察沙汰になるだろうと考え、親に告げて助けてもらおうように促すと、「親にだけは知られたくない」と訴える……それが現状のようです。

だからこそ、小学生のうちに薬物の脳への影響、とくに1回でも、始めたらやめられなくなる「依存性」と、やめることができたとしても「フラッシュバック」が起こることなどを、この教材でしっかり指導して、「不本意な人生」を歩まない子どもたちを育ててほしいと願っています。

北沢杏子(きたざわきょうこ)

1965年から性教育を中心とする研究、著述、海外取材、講演、評論活動を展開。全国の小、中、高校、大学の要請による公開授業やゼミを行なうと共に、210余点の性教育・エイズ教育・乱用薬物防止・性暴力被害防止などの教育教材を制作し、文部大臣賞、教育映像祭最優秀賞・人権賞などを受賞している。

著書に「親と先生のためのQ&Aシリーズ全3巻」「薬物いや!シリーズ全3巻」(アーニ出版)他多数。

アーニ出版共同代表、「性を語る会」代表、医学ジャーナリスト協会会員、国連人口基金・国際協力機構(JICA)のリプロヘルスIEC事業専門家派遣員他。

*『薬(ドラッグ)がやめられない 子どもの薬物依存と家族』小国綾子著/青木書店刊

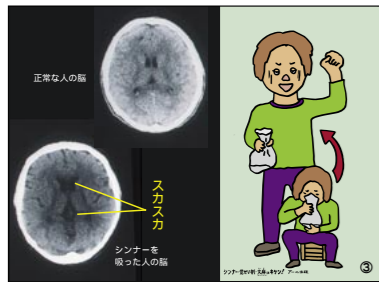
シンナー・覚せい剤・大麻(マリファナ)に共通しているのは、依存性をもっていることです。1回だけなら大丈夫と思っていても自分の意思ではやめられなくなり、薬物を手に入れるだけが目的の、台無しの人生を送ることになるのです。



① きょうは、シンナー・覚せい剤・大麻(マリファナ)のお話——
 こういうものを吸ったり、注射したりしていることがみつかり、逮捕されて、刑罰を受けることはもちろん、体もめちゃめちゃにこわれてしまうんだよ。これらがどんなに危険な薬物(ドラッグ)かということを知っておこう。



② あれっ、こんなところで、なにをしているんだろう？
 そう、(指しながら)シンナー・覚せい剤・大麻(マリファナ)などの薬物を、こっそり使っているところだ。
 これらの薬物は、みんなのいちばん大切な脳にさまざまな影響をおよぼして、取り返しのつかない結果をまねいてしまうんだよ。



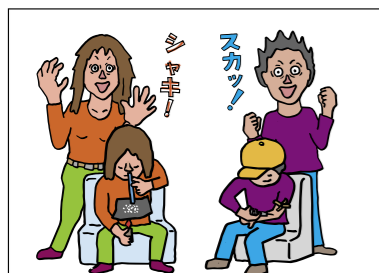
③ では、シンナーの害から説明するね。
 シンナーを吸うと、心配ごとやイライラがなくなって、「わあ、ハッピー！」とうきうきした気分。自分が急に強くて偉大な人間になった気になるんだって。そこで、もう一度、もう一度と繰り返し吸っていると、
 (紙しばいを全部引く)
 ほら、(指差して)脳の一部がとけかかって、すき間が広がっているのがわかるかい？
 その結果、困ったことが起こるんだよ。
 それは……、

◆ シンナーやボンドは、「有機溶剤」。希釈剤として、脂を溶かす性質があり、脳の神経の一部を溶かす。



④ ……「幻覚」といって、見えるはずのないものが見えたり、聞こえないはずの音が聞こえてきてね、突然、誰かに襲いかかったり、暴力を振るったりするようになるんだ。

◆ 脳はからだのすべての働きを調節しているので、その脳が薬物に冒されると、視力がおかしくなったり、手がふるえたりと、さまざまな悪影響がでる。

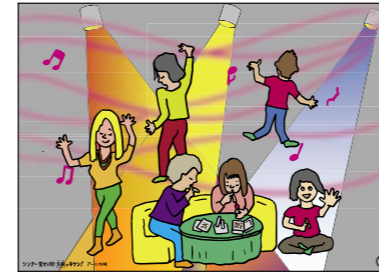


⑤ 覚せい剤は、もっとひどいんだよ。
 覚せい剤の粉末を水に溶かして静脈に注射したり、あぶって吸ったりすると、スカッとして、英雄になった気分。
 (紙しばいを全部引く)
 シャキッと目がさえて、一晩も二晩も眠らずに騒ぎまくり、使う量もどんどん増えていって……そのうち……、

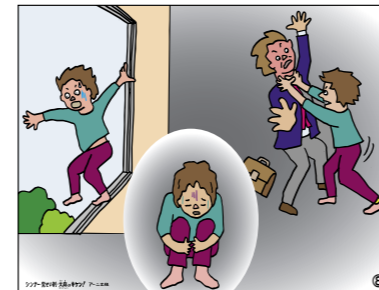


⑥ 判断力が鈍り、「幻覚」や「妄想」とらわれて、「誰かにねらわれているウ…」とか、「殺すぞ、殺すぞ」などという声がきこえてきてね……、それでもやめずに覚せい剤を使い続けていると、
 (紙しばいを全部引く)
 突然、刃物を振りまわしたり、まわりの人におそいかかったりするような異常行動をおこすようになるんだ。

◆ 前頭前野(理性の部分)が冒され、幻覚妄想型の精神異常となる。発作的な殺人・傷害・強盗・放火・自殺などの例が多い。

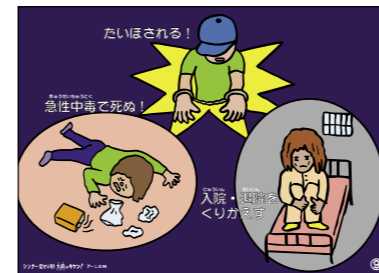


⑦ つぎは、大麻(マリファナ)の話——
 みんなでマリファナを吸って、ダンスパーティ。
 リズムが最高！ おしゃべり、ベラベラ……いろんなものがゆがんで見える！
 わあッ、楽しい！
 けれど、だんだんのめり込んで、吸う量が増えていくと……脳がおかされて記憶力が落ち、さらに……、



⑧ (紙しばいの中の絵を指しながら)
 「幻覚」に襲われて飛び降りる者、攻撃的になって喧嘩する者、逆にやる気がなくなって動かなくなってしまふ者……
 これもみんな、大麻(マリファナ)が脳をダメにしてしまったからなんだよ。

◆ 後頭部の視覚野が冒され幻視がでる、側頭部の聴覚野が冒され幻聴がでる、神経が興奮する、または抑制される。
 アメリカでは、マリファナを吸煙して自動車を運転し、交通事故を起こすケースが激増。社会問題になっている。



⑨(紙しばい②を重ねて)
 思い出してみよう。
 シンナー・覚せい剤・大麻(マリファナ)を吸ったり注射したりした結果……、
 シンナーによる急性中毒死、覚せい剤で傷害事件をおこして刑務所に……、
 大麻(マリファナ)で頭がおかしくなって、入退院をくりかえす……などということになるんだ。

◆ 薬物をやめても、また欲しくなって使ってしまったり、フラッシュバックを起こして異常行動をとることが少なくない。



⑩ いま人生のスタートラインに立っているみんな。
 もし、誰かに「すっきりするぜ」「やせるよ」「どうだい？」などと誘われたら？
 「イヤだ！」(児童の声)
 「NO！」(児童の声)
 そう、みんなは、これからの希望にみちたすばらしい人生を、こんな薬物なんかで、ダメにしたりしないよね。

大型図版・マグネットパーツの活用

紙しばいで学んだことを大型図版にマグネット付パーツを貼りながら説明していく。Q1 から Q5 まで問いかけながら進めていく。薬物依存から抜け出るのはとても困難で、たとえ一度でも手を出すと「転落・破滅の人生」になることを強調する。

シンナーを吸うと「幸せ、怖いものなし、フラフラと動き出したくなる」という酔った気分になります。

覚せい剤は脳を興奮させ、疲れや眠けもふっとんで何でもできる気分になります。逆に効果が切れると激しく落ちこみます。

大麻を吸うと脳の視覚野や聴覚野が影響を受け、幻視・幻聴がでるので、それを楽しむために使用するようですが、大麻による自動車事故が多発していることも教えておきましょう。

マグネット付パーツ①



「やめようと思ってもやめられない」。薬物依存の底なし沼から抜けだせなくなる。

マグネット付パーツ②



シンナーを短時間に大量吸引すると、呼吸麻痺・心不全・ビニール袋による窒息死などで死亡する。覚せい剤は熱中症のような症状で死亡する。

マグネット付パーツ③



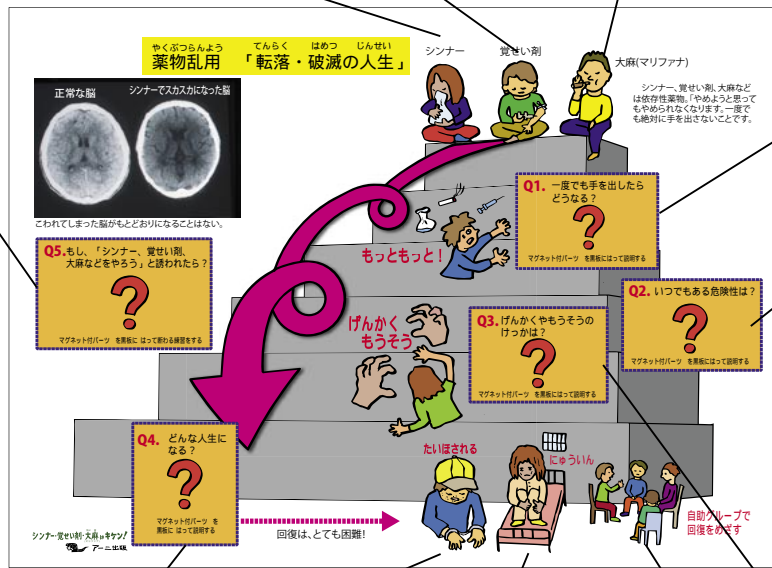
とくに覚せい剤乱用者は、幻覚や妄想から「ネラワレテイル」「コロサレル」などと思いこみ、殺人や放火などの事件をおこす。

マグネット付パーツ⑤



※誘われることがあっても絶対に手を出さない。しっかり断わるように指導する。

※売人は「覚せい剤」などは口にせず、「勉強ができるようになる」「やせて美しくなる薬」などと言い寄ることも知らせておこう。



マグネット付パーツ④



刑務所に入る受刑者の5分の1(女性では3分の1)が覚せい剤事犯です。依存性が強いので、再犯率も5割を超えています。

有機溶剤精神病、覚せい剤精神病、大麻精神病などで入退院をくりかえします。

薬物依存者が回復者のスタッフと共に共同生活を送りながら、社会復帰を目指します。

ダメージを受けた体と心は元どおりにはなりません。回復は非常に困難です。

乱用者がたどる代表的な3パターンは、

- ・不法所持で逮捕され刑務所に入る。
- ・精神病院に入院する。
- ・自助グループで回復をめざす。

薬物に手を出したばかりに依存症に陥り、転落・破滅の人生になる。

ワークシートの活用

授業の最後にワークシートに記入してもらい、それをもとに誘いを断わるロールプレイを試みよう。



ロールプレイは、誘う人と誘われる人に分かれ、いろいろなケースを想像して行なう。上手に断わった人には拍手を送ろう。

マグネット付パーツ⑤



最後に大きな声で「だめ!」「いや!」「ノー!」と叫んで授業を終える。